

Bird Quiz

to Spring —

探してみよう! クッチャロ湖周辺 春の野鳥クイズ

この時期のクッチャロ湖には、旅鳥と夏鳥という2種類の渡り鳥がいます。下の12羽の内どの鳥が夏鳥で、どれが旅鳥かわかるかな!? 野鳥博士になってみんなに教えてあげちゃおう!



旅鳥

渡りの途中に立ち寄る鳥たち

おもに北方で繁殖し、冬を越すために飛来する鳥たちです。クッチャロ湖には春や秋に飛来します。

夏鳥

子育てのために夏場滞在する鳥たち

夏から初秋にかけて日本で子育てをし、秋になると南へ渡っていく鳥たちです。



A ヨシガモ
体長48cmほど。緑色の頭部の中心に、赤紫の冠羽をもつ。弧を描くような三列の風切羽が目立つ草食性のカモ。



B アオジ
体長16cmほど。緑がかった体が芽吹き前の樹上でよく目立つ。半面、草むらや藪に姿を隠すことも多い。植物の種や昆虫を食べる。



C ミコアイサ
体長42cmほど。白い体に、目の周りが黒く、パンダガモとも呼ばれる。潜水を得意とし、おもに魚を食べる。



D ノビタキ
体長13cmほど。黒い頭と白い体、胸の茶色が特徴的。湖畔のヨシ原で、顔の昆虫を探る姿が見られる。



E ヒドリガモ
体長49cmほど。茶色の頭部の真ん中には黄色い帯状の模様がある。水面の水草を食べるが、岸に上がって陸上の植物をついばむことも。



F アオサギ
体長90cmほどの日本最大種のサギ。名前は「アオ」だが、グレーの体が目立つ。湖畔で魚をついばむ姿や湖上を優雅に飛ぶ姿が目立つ。



G キンクロハジロ
体長40cmほど。黒っぽい体と、金色の目、頭頂部の冠羽が特徴的。貝類や水草などを潜水して食べる姿が見られる。



H ウミネコ
体長47cmほど。白い体に灰色の羽。クチバシの先端に赤と黒の斑点がある。海岸で猫のような声で鳴く。



I セイタカシギ
体長40cmほどだが、20cm以上もある細長い脚が特徴。湿地のエビやカニを捕食する。クッチャロ湖には稀に数羽飛来する。



J ウグイス
体長15cmほど。薄い緑の体で、目の上が眉毛のように白い。有名な「ホーホケキョ」の鳴き声は、春先はまだたどたどしいが、夏が近づくにつれて上達する。



K トウネン
体長15cmほどの、最小の部類のシギ。湿地や干潟で小型の貝類や種子を餌とする。成鳥でも今年生まれたかのように小形であることから当年(トウネン)と呼ばれる。



L カワセミ
体長17cmほど。体のわりに頭が大きい。エメラルドグリーン色の体と、オレンジの模様が美しく、「溪流の宝石」と称される。水面に一直線に飛び込み、魚を捕食する。

栗園の... 蟹... 蟹... 蟹... 蟹...

クッチャロ湖支援の輪 拡大中!!

2008年4月22日現在
順不同・敬称略

ご協力いただき、ありがとうございます。

- 正会員 39名
賛助会員 13名
サポーター会員 242名
地元法人会員 株式会社南波組
丹羽建設株式会社
北友建設株式会社

サテライトサポーター

- 株式会社大同ライフサービス
- フジオーセックス株式会社
- 中川精巧印刷株式会社
- 大同環境エンジニアリング株式会社
- 株式会社ライフサポート
- 日本プレス工業株式会社
- 大同アミスター株式会社
- 大同スペシャルメタル株式会社
- 株式会社大同キャストィングス
- 大同スターテクノ株式会社
- 大同ブランド工業株式会社
- 株式会社スターインフォテック
- 株式会社ダイドー電子
- 日本精線株式会社
- チカラ工業株式会社
- 丸太運輸株式会社
- 泉電気工業株式会社
- 大同マテックス株式会社
- 東北特殊鋼株式会社
- 大同興業株式会社
- 大同テクニカ株式会社
- 大同エコマット株式会社
- 住友林業緑化株式会社
- レッドキューブ株式会社

スペシャルサポーター：大同特殊鋼株式会社

クッチャロ湖エコワーカーズ会報

KUTCHARO PRESS vol.7 編集発行 NPO法人クッチャロ湖エコワーカーズ

〒098-5734 枝幸郡浜頓別町日の出丁目68番地 tel:01634-2-0028 fax:01634-2-3163 mail:info@kutcharo.or.jp

エコワーカーズのウェブサイトもご覧ください。 www.kutcharo.or.jp

道北最後の秘境・クッチャロ湖の環境から 観光までを伝えるエコワーカーズ会員限定情報誌

KUTCHARO PRESS

クッチャロプレス 第9号 4~5月号 (2008年4月発行)

Life
日ごとに萌えゆく
やさしい緑につつまれて—



生命の季節、到来。

5月—

全てを冷たく閉ざしていた雪がとけ、大地がようやく顔を出した。湖畔は今、雪どけ水をたたえて潤いに満ち満ちている。たっぷり水を吸った大地は、淡い太陽光を全身に受けてキラキラと輝き、春を迎えた喜びを、全身で表わしているかのようだ。芽生えばかりの水生物を踏みつけぬよう、慎重に歩みを進めれば、まばゆいばかりの絶景と、小鳥たちの歓喜のさえずりが迎えてくれる。さあ、ともに湖畔へくりだそう。大自然の営みの神秘の前に、きっとあなたの顔もほころぶはずだから。



この時期、湖畔の森にはたくさんの野鳥が集まってくる。今はまだ、たどたどしいさえずりは、日が進むにつれて徐々に上達。6月にはそのコーラスは最高潮に達する。



足元に目を向ければ、春の恵み、山菜がそこかしこに顔を出しているのに気づく。タラノメ、ササノコ、ゼンマイ、ワラビ... 素朴で懐かしい味わいの「元祖スローフード」だ。



春の到来をまっさきにつけるミズバショウ。5月初旬、まだまだ枯野のような景色の湖畔には、白いミズバショウの花が点々と広がり、小気味よいアクセントとなる。

クッチャロ湖エコツアーに参加して、春の湖畔を満喫!!

クッチャロ湖畔 原生林アドベンチャー

所要時間：3H
価格：¥4,000/1名
最小催行人数：2名

その他、楽しいエコツアーを多数ご用意!!

お問合せ

クッチャロ湖エコワーカーズ事務局
菊地ともえ
TEL:01634-2-0028
MAIL:info@kutcharo.or.jp